

登録日 2025/7/22

登録番号 Gas040

腫瘍名 胃がん

申請医師 消化器外科

投与スケジュール

XELOX+Pembrolizumab+Tmab				21日毎 × PDまで (オキサリプラチンは6～8コースまで)	
				1コース	2コース
				1 8 15 22 ... (day)	
① デキサート	9.9 mg	点滴 15分	↓		↓
パロノセトロン	0.75 mg				
生理食塩水	50 mL				
② 生理食塩水	50 mL	点滴 5分	↓		↓
(前投薬用フラッシュ)					
③ キイトルーダ	200 mg	点滴 30分	↓		↓
生理食塩水	100 mL				
④ 生理食塩水	50 mL	点滴 5分	↓		↓
(キイトルーダ用フラッシュ)					
⑤ トラスツズマブBS	6 mg/kg	点滴 30分	↓		↓
大塚蒸留水	20～40 mL				
生理食塩水	250 mL				
初回投与量: 8mg/kg、2回目以降投与量: 6mg/kg					
初回90分投与、2回目以降30分に短縮可能					
⑥ 生理食塩水	50 mL	点滴 5分	↓		↓
(トラスツズマブ用フラッシュ)					
⑦ オキサリプラチン	130 mg/m ²	点滴 120分	↓		↓
5%ブドウ糖	500 mL				
⑧ 5%ブドウ糖	50 mL	点滴 5分	↓		↓
(オキサリプラチン用フラッシュ)		(全開)			
⑨ ゼローダ	2000 mg/m ² /day	経口 朝、夕		Day 1～14	Day22～

注意事項

【適応】HER2陽性、原則、1次治療。PD-L1の発現(CPS≥1)が確認された患者に投与する。
【投与延期、中止基準】適正使用ガイド参照
【調製上及び使用上の注意】
・キイトルーダはインラインフィルターを使用(0.2～0.5 μm)
・免疫チェックポイント阻害薬の運用フローを参照。
・心機能を確認する(適正使用ガイド参照)。
当院の心エコー・心電図検査プロトコルを参考とする。
・トラスツズマブは、投与予定日より1週間を超えた後に投与する際、改めて初回量で投与する。

参考文献

1) Lancet, 402, 2197–2208 (2023).
2) N Engl J Med, 391, 1360–1362 (2024).
3) 添付文書
(キイトルーダ2025年5月改訂版、トラスツズマブ2024年12月改訂版、オキサリプラチン2023年8月改訂版、ゼローダ2024年2月改訂版)